

ちょっとした、得する！耳寄り情報

# てんこもり

発行：丸ス産業株式会社 「てんこもり」編集部  
TEL：0574-72-1318 FAX：0574-72-2739



平成20年度も  
よろしくお願ひします。

岐阜県内においての桜の時期は終わろうとしていますが、読者の皆様は花見を楽しむことはできましたでしょうか？わが編集部員も”花見”という理由だけで少しだけおいしいお酒？をいただきました。何はともあれ、読者の皆様と一緒に新年度をスタートできました事、本当に感謝しております。平成20年度も一層のご指導・鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。  
さて今回は、読者の皆様から頂きました情報を記事に盛り込み、てんこもりにさせて頂きました。ご協力頂きました読者の皆様、本当にありがとうございます。わが編集部も皆様にちよとした耳寄り情報、少しだけ楽しい、ホッとする時間を提供させて頂けるようにこの「てんこもり」の発行をして参りますのでどうぞよろしくお願ひします。

## メニューその1

### 軽量土工法(R-PUUR工法)の紹介 ー現場発泡ウレタン軽量盛土工法ー

現場発泡ウレタン軽量盛土工法(R-PUUR工法)とは、現場において地形及び構造物にあわせた形状に硬質ウレタン樹脂「フォームライトW」を発泡させる土木工法です。密度が36kg/m<sup>3</sup>と超軽量なため、設計においては盛土及び土構造物などの土圧軽減や荷重軽減が可能となり、か

つ現場で発泡させるため作業性がよく、経済的でスピーディーな施工が可能です。昨年度県内では新丸山ダム工事事務所、揖斐土木事務所



採用された実績があります。国土交通省の「新技術情報・NETIS」にも紹介されており、事後評価で”従来技術に比べて活用の効果は優れている。また活用の条件の違いによる評価のバラツキが小さい。従来技術より優れる”という(例の少ない貴重な)結果になっています。是非、ウレタン土木技術研究会で検索してみてください！  
<http://www.rpur.jp/by藤井>

## メニューその2

### おいしいお店 紹介します！

今回は2軒のお店を紹介いたします。初めに紹介しますお店は、読者のT.Tさんに教えて頂いた、かくれ酒房「鷹」さんです。鷹さんは、グルメ情報誌などの取材等はNGなので、特別に記事と



写真の掲載をOKして頂きました。雰囲気の良い店内には、旬の食材とそれにぴったりの各種お酒が多数あり、ゆつくりとくつろぎながらおいしい料理・お酒をいただけます。週末もなれば、カウンター・お座敷とも、そんなお客さんでいっぱいです。



絶品料理のなかでも鷹さんがお勧めする、この時期にぴったりな旬の料理3品をご紹介します！1品目は、三河直送のしず(マメダイ)のお造り、食べてびっくりという表現がびつたり美味しさです。2品目は、大阪岸和田産の水ナス、そのままいただくのもたいへん美味しいですが、握りでいただく事も出来ます。3品目は、三重産の若たけのこ、焼き物・天ぷら・からし酢みそあえ・チーズ焼きと違ったバリエーションで楽しめます。他にもお勧めしたい料理ばかりですので、一度足を運んで

みて下さい。きっと大満足できますよ。「鷹」美濃加茂市前平町1-123-1 TEL 0574-27-5432 by多賀  
2軒目のお店は、岐阜芥見の「たつちゃんラーメン」をご紹介します。懐かしい味だけど、ありそうでない「たつちゃんラーメン」。美容と健康にいい、ミネラルが豊富な日本一のアツさりスープです。チャーシュー等の原料はすべて国産材料を厳選。麺は天然のモングルかんすいを使用していますので毎日食べれば食べるほど健康になれるラーメンです。透き通るようなスープは他ではあまり見る事ができません。まずはどうぞ香りからお楽しみ下さい。  
たつちゃんラーメン 岐阜市芥見東山2-2 あい・らんど内(モスバーガー芥見あと) 電話058-241-2175 by島崎



**メニュー3**  
みんなでつくった  
岐阜県産法面資材

皆さん”授産品”って知ってますか？一般就労の困難な障がい者の方達が、授産施設において力を合わせて作りあげた品々の事です。私も以前に地元で夏祭りで携帯電話のストラップや小物入れ等を購入させて頂いたことがあり



作業風景(たんぼぼ作業所)

業を何かのパンフで見ることがきつかけでした。そんな授産品の中にも、土木資材があるのをご存知でしょうか？恵那市にある授産施設”恵那たんぼぼ作業所”で作られている”ハートフルマット”と”ハートフルネットII型”がそれです。ハートフルマットは土砂法面用、ハートフルネットII型は軟岩く硬岩法面用の緑化をそれぞれ目的とした法面資材です。

ります。そんな私の行動は”どんなに重い障害を持った人でも、人は皆、社会を構成する一員として、共に生きる権利を持っていきます”という言

業所では、生きがいのある自立した生活をおくる事が出来るよう、働くことを通じて支援をしています。  
by 読者 A

**メニュー4**  
その種  
イベント

先日、アンカー緊張管理の書式の問い合わせがありました。公的には決まった書式が見当たらない為か、各社ごと更には技術者ごとに書式が違

っているようです。そこで早速、(社)日本アンカー協会に問い合わせしてみました。(社)日本アンカー協会では、  
・グラウンドアンカー工の緊張管理様式の統一化  
・グラウンドアンカー工の施工実績のデータベース化  
・グラウンドアンカー工の

緊張管理に関する品質向上を目的として、「グラウンドアンカー緊張管理システム」を提供しているようです。

このシステムは、(社)地盤工学会の「グラウンドアンカー設計・施工基準 同解説」に準拠し、グラウンドアンカー工の緊張管理図作成、品質保証試験の報告書の作成を支援するシステムで、インターネットを介して行なうアプリケーションサービスであるため、いつでも好きな時間にシステムが利用できます。そういう意味では、土木業界における新しい動きだと言えます。

確かに、施工者がこのシステムを用いれば、発注者に提出される資料の書式が統一されるだけでなく、どんなタイプのアンカーがいつどのくらい施工されているかがわかりますし、その結果が協会のデータベースにあれば、色々な問題が出たときの解析データとして、重宝されそうです。また、品質保証という今後のキーワードに対しても、色々な動きが出来るようになると思われま

るような現場は、特に初期段階の打ち合せで、緊張管理の書式を「(社)日本アンカー協会」と指定するのも良いかと思えますが、いかがでしょうか。▽社団法人日本アンカー協会ホームページ：  
/www.japan-anchoring.or.jp/  
by F A T かつう

**メニュー5**  
ご存知ですか？  
こんな所でCO2



球温暖化・・・実はセメントの使用が大きな課題となつてい

のです。セメントは、製品過程で石灰石を熱分解する際に大量のCO2が発生します。一般には1tのポルトランドセメントを製造すると、700kg~800kgのCO2が排出されると言われます。そして世界中のセメント需要から単純計算したCO2排出量は約13億tとなり、その量は、日本で一年間に排出される全てのCO2排出量に匹敵するそうです。もちろん、セメントは社会

であり、ただ使用量を減らせば良いと言う事にはなりません。コンクリートに高炉スラグや石炭灰等の廃棄物・副産物を混和材として利用するなど、セメント使用量を低減したり、コンクリート構造物のライフサイクルを管理し、長寿命化することにより、長期的なCO2削減を図っていく事が解決の鍵となりそうです。  
by 安江



**編集部よりのお知らせ**

で近頃の読者お待ちなさい。また、おもしろい記事を紹介させていただきます。写真をつけて下さる方は、ぜひご連絡下さい。この機会に、ぜひご参加ください。編集責任者 藤井 丸 39 s-fujii@marusu21.co.jp